

平成28年6月17日	資料3
第3回健康診査等専門委員会	

乳幼児健康診査の事後フォロー

横須賀市こども育成部こども健康課
森田 佳重

本市の概要

- 人口総数 412,310人（平成28年4月1日）
- 老年人口 122,763人（平成28年4月1日）
- 高齢化率 29.77%（平成28年4月1日）
- 出生数 2,607人（平成26年）
- 出生率（人口千対） 6.4（平成26年）
- 合計特殊出生率 1.23（平成26年）
- 乳幼児健診受診率
（平成27年度）

乳児健診	98.9%
1歳6か月児健診	97.3%
3歳児健診	95.1%

乳幼児健診について

- 根拠法令：母子保健法第12条及び第13条
- 目的：乳幼児の病気の予防と早期発見、および健康の保持・健康の増進
- 費用：自治体を実施するものは無料
- 項目：身体発育状況・栄養状態・脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無・皮膚の疾病の有無・歯及び口腔の疾病及び異常の有無・四肢運動障害の有無・精神発達の状況・言語障害の有無・予防接種の実施状況・育児上問題となる事項・その他の疾病及び異常の有無

本市における乳幼児健診の位置付け

横須賀子ども未来プラン

大柱1 子育て支援の推進

大柱2 安心して子どもを産み育てやすい環境づくり

大柱3 子どもと青少年が健やかに成長するための環境づくり

大柱4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

大柱5 特に支援を必要とする子どもとその家庭への支援の充実

(1) 子どもと母親の健康づくり

(2) 子どもが健やかに育つ環境づくり

病気や発達障害、虐待等を早期に発見し的確な指導を行えるよう、乳幼児健診の質の向上を図ります。健診未受診者の状況を把握し、未受診者に対し、子どもの健全育成に欠かせない重要な保健、福祉情報を提供します。

乳幼児健診の流れ

周知

- ・母子手帳交付時面接
- ・こんにちは赤ちゃん訪問
- ・各種教室
- ・個別のお知らせなど

- *保健師・健康福祉センターの役割について
- *健診の目的・内容について

健診実施

- ・医師による診察・指導
- ・多職種による保健指導
- ・必要時精密検査依頼・発達相談

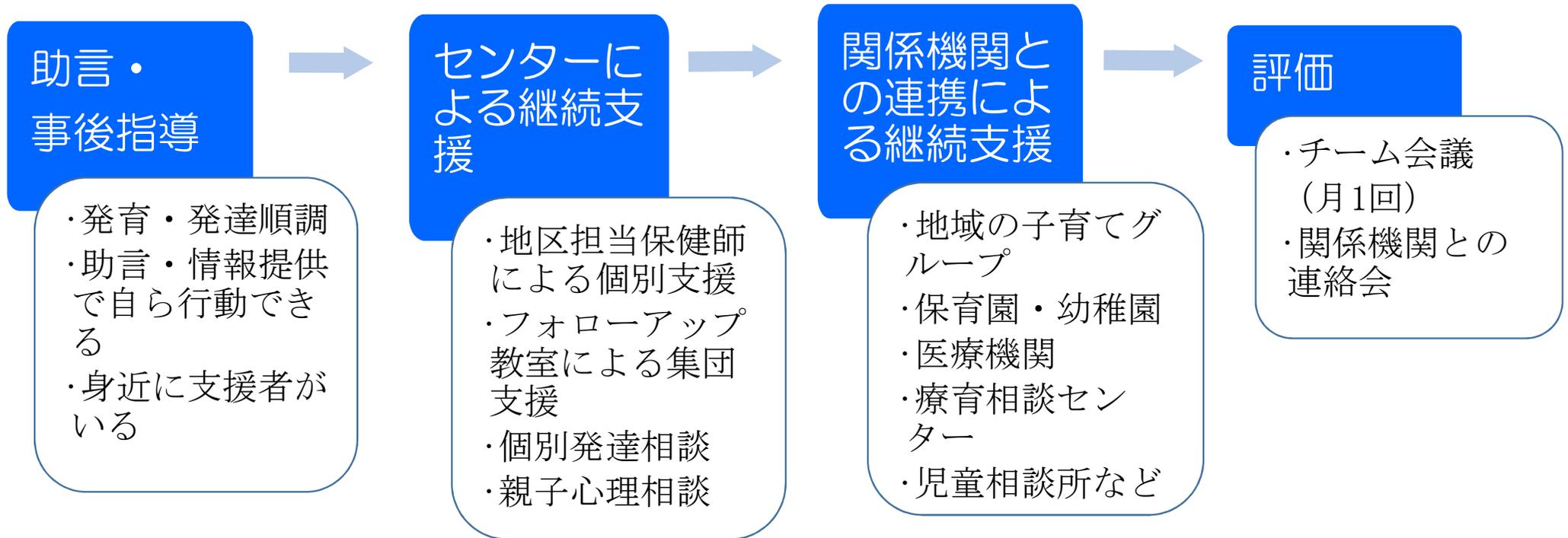
- *発育・発達について
- *栄養・歯の衛生・生活リズム・遊びなど
- *社会資源など情報提供

事後フォロー

- ・カンファレンス
個別支援
集団支援
他機関との連携など

- *保健指導の内容が妥当であったか総合判断
- *フォローの方向性を最終決定

事後フォローについて



*事後フォローは、支援者との連携が重要

⇒家族・地域（保育園・幼稚園など）・専門機関（療育相談センター・医療機関・児童相談所など）

平成26年度健診受診者の事後フォロー1年後の経過

1歳6か月児 健診で要支援

終結
42.4%

継続
57.6%

* 1歳6か月児健診後の事後フォローは、継続率が高いため、中長期的な見通しが必要

3歳児健診で 要支援

終結
89.2%

継続
10.8%

* 3歳児健診から1年後に終結となる児の多くが、保育園・幼稚園に入園するので就園への支援が大切

事後フォローの例①

【健診】

乳児健診で、体重増加不良が認められた。

授乳間隔1～3時間とまちまちで、夜間の授乳もあり。

母親は、産後の疲労感あり。家族の協力はある。

【事後フォロー】

授乳のリズムの乱れにより、1回の授乳量が確保できなくなっている。

母親の疲労により、栄養不足の可能性あり。

- ミルクの足し方、授乳リズム指導。
- 母親の健康管理・食事指導。
- 1か月後に経過観察を行い、体重順調に増加した。授乳間隔があき、母子ともにもしっかりも寝れるようになったため終結となった。

事後フォローの例②

【健診】

1歳6か月児健康診査で言葉の遅れがあった。
理解はできている。人とのやりとりが未熟。
妊娠中に転入したため、両親とも友達が少なく土地勘もあまりない。
両親の実家の手助けはある。

【事後フォロー】

経験不足からくる言葉の遅れと思われた。

- 遊びの教室に月2回通い、子ども同士で遊ばせることで、対人のやりとりが上手になった。
- 地域子育て支援施設（愛らんど）を紹介し、母親の相談相手を得る。
- 近くの子育てグループや幼稚園、保育園、子育てグループなどを紹介し、2歳半で幼稚園に入園した。その後、言葉がよく伸び、終結となった。

まとめ

【受診率向上のポイント】

- ①母子手帳交付時面接や各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問などあらゆる機会に周知し、保健師や健康福祉センターの役割、健診の目的や内容を周知する。
- ②母子手帳の存在。妊娠中から子育て期まで、専門機関と保護者がそれぞれ記載するので、成長の節目に健診を受けることが普通と思える。
- ③土曜・日曜健診など、働いている方が受けやすい体制づくり。
- ④未受診の方への勧奨・訪問により、健診を受けない理由の傾向を把握し、改善の検討を行う。

【効果的な事後フォローのポイント】

- ①成長発達に応じた支援を行うため、個別支援が基本。
- ②今までの子育てや価値観を尊重しつつ、親子の困りごとや支援のニーズを引き出す。
- ③親の気持ちや生活環境に配慮し、健診はそのプロセスとして認識し、中長期的な視点で支援する。
- ④身近なところで、信頼して相談できる支援者や社会資源を見出しつなげる。

まとめ

【乳幼児健診の評価について】

①乳幼児健診の質の向上

- 母子担当者会議による課題解決
- 対象へのアンケート調査
- 乳幼児健診マニュアルの作成
- カンファレンス・チーム会議による支援方針の共有

②未受診者に対する保健、福祉情報の提供

- 乳幼児健康診査未受診者数
（平成27年度）

乳児健診	30件
1歳6か月児健診	74件
3歳児健診	146件
- 未受診者への全数家庭訪問の実施

乳児健康診査マニュアル(予診・総合・指導用)

健診の目的: 発育・発達のスクリーニングの機能とあわせ、親等が育児に積極的に取り組めるよう支援する。母親が、否定的な感情を抱かないような配慮が必要。

出生の経過・健診時の月齢の考え方	早期産: 28週～37週未満 → 10か月児健診 早産極低出生体重児: 1,500g未満 → 1歳6か月児健診 早産超低出生体重児: 1,000g未満 → 3歳児健診まで修正月齢でみてよい。	正期産児は、生後何日目に退院したか、その時の体重をチェックする。通常は、生後4～7日で退院する。入院が長いときは、母親のどちらかに何かあったことが多い。生理的体重減少がどのくらい回復しているかもみる。早期産児では退院が予定日前か、予定日頃か、予定日以後かをみる。極低出生体重児では予定日より1ヶ月以上、超低出生体重児では予定日より2ヶ月以上入院していた児は発達障害を伴うことが多い。乳幼児の発育は出生時の状態に左右される。
------------------	---	---

出生の経過	出生場所名	空欄の場合は、必ず状況を確認して記入する。異常があった場合は、その内容や予後、継続して管理が必要な状況なのかを確認する。
	出生時の状態	
	分娩経過	
	分娩方法	
	先天性代謝異常の検査	
	新生児聴力検査	
1ヶ月健診の状態	生後一週間以内の赤ちゃんの状態	
1. 正常 2. 仮死 3. 点滴 4. 強い黄疸(光線 日・内服 日) 5. チアノーゼ 6. 呼吸障害 7. 心雑音 8. けいれん 9. その他()		

予種防疫	今までに受けた予防接種に○をしてください また、接種した回数を記入してください	ヒブ、小児肺炎球菌、四種混合の接種確認	不活化ワクチン(シナジス、B型肝炎)、は接種後1週間、生ワクチン(ロタ)は接種後1ヶ月他の予防接種との間隔をあける	接種スケジュールについての助言
------	--	---------------------	---	-----------------

問診項目	チェックポイント	疑うべきリスク	考え方など	対応	
お子さんの様子	1. 生まれてから何か病気をしましたか	発達に影響がある疾患か。親の疾患への認識、受診行動がとれたか。		現在の発育・発達への関係が深いためフォロー状況の確認および、把握する必要がある。	
	2. 現在通院していますか	いつ頃から、疾病名と受診先、治療状況を把握する。			
	3. 泣いたり、授乳時に唇・爪の色が悪くなりますか	出生時の状況確認、体重増加・授乳状況はどうか? 受診行動の有無の確認。	心疾患など		診察で落とさないように項目番号に◎をする
	4. 便の回数	①授乳(回数・量)②排便(回数・性状・量)③機嫌の良否④水分・果汁の種類と量⑤便秘に対する母の対応(こより洗腸etc)	ヒルシスプリング病など		状況を聞き取り、栄養・生活にまわす。
	5. あやすと笑いますか			児の発達と母子関係をみる。 聞き方例 「赤ちゃんは、お母さんを見つめてくれますか」 「赤ちゃんは、よく笑いますか」 「抱いた感じはどうですか」等	
	6. アーアー、ウーウーなど声を出しますか	児への声のかけ方や扱い方、児の反応の観察	発達遅滞・ネグレクトなど		「いいえ」の時は、具体的に状況をききとる。
	7. 動くものを目で追いますか	追視があるか。眼振、斜視などの有無。(確認できない場合は、臥位で確認や家での様子を聞き取る)	発達遅滞・視覚障害など	①30～40cmの距離から上下左右向けるかテスト(予診は赤い輪を使用して確認) ②基礎疾患の有無(発達遅滞をひきおこす可能性があるかみる)	追視が確認できない場合や、無い場合は診察・指導で再度確認する。生活欄と項目番号に○をする。
お子さんの様子	8. 見えない方向から声をかけてみるとそちらを見ようとしますか	反応があるか、確認。普段の生活状況の確認。(騒音がひどい住居環境など)大きな音への反応の有無。新生児聴覚検査の結果確認	難聴・発達遅滞など	①音の方向(ガラガラテスト)へ顔を向ける(又は目が向く) ②声を出して笑う ③喃語がある→実際に観察不可能な場合は問診にて確認する ④家族歴の有無(両親の難聴) ※意図的反応生後6Mが明確になる	予診の観察結果を市記入欄に記載。反応が確認できない場合は、診察・総合で再確認。生活欄と項目番号に○をする。
	9. 立て抱きにして、抱っこできますか				予診の観察結果を市記入欄に記載。土、一の場合は、生活欄と項目番号に○をする。
	10. 腹ばいになせると頭を持ち上げますか	①月齢 ②出生時の状況(週数・体重・仮死の有無)	発達遅滞 ネグレクト	発達遅滞や障害児を早期発見するためには、姿勢・反射・四肢の自動運動・筋の緊張及び関節の可動性などや、それらの相互の関連についての観察を行う。養育環境によっても起こりうる。	「はい」の場合は、生活欄と項目番号に○をする。
	11. 体がやわらかくしっかりしないとか、手足がつっぱって硬いと感じたことはありますか	③引きおこし、はらばいの確認 ④基礎疾患の有無 ⑤母の育児態度(抱き方・寝かせ方)			
	12. 仰向けに寝ていて、手を口の辺りに持っていることがありますか	⑥児の個性(大人しい・よく寝る子)			
	13. ガラガラ等を持たせると少しの間握りますか				
	14. 1日の生活リズムを記入して下さい	生活リズムの確認		児の生活リズムや日中の授乳への影響、母親の疲労度の確認をするため。頻回の夜間授乳は、育てにくい児であることも考えられ、養育者への支援が必要になる。	生活リズムが極端に乱れていたり、児が眠らないことへの困難さがあれば項目番号に○をする。
	15. よく寝ますか	「育てにくさ」があるか			
	16. 買い物等を含め、お散歩をしていますか	児への身体的な刺激、情緒的刺激が与えられているか。母子が引きこもっていないか。	ネグレクト 親の引きこもり 育児困難	親子で外出できる状況なのかの確認を行う	「いいえ」の場合、日中の過ごし方やなぜ外出できないかを聞き取り、市記入欄に記入。「お母さんのこと」の欄と連動して考える。
	17. テレビやビデオをできるだけ消すようにしていますか	「テレビやビデオを2時間以上つけているか」	母子関係 発達の課題があるか	小児科医会の提言 2歳まではテレビ・ビデオの視聴を控えるに 授乳中・食事中はテレビ・ビデオをとめる。 目安)就学前までテレビは2時間以内、テレビゲームは30分以内	養育者へ子育て情報として伝える。テレビを見せることが良いことと勘違いする可能性があるため、アンケート「はい」の場合は、助言する
18. お子さんのことで相談したいことや困っていることはありますか	主訴		主訴がある場合は、具体的にどのような場面・どのような様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。	主訴がある場合は、項目番号に○をする。	

栄養について	19.授乳方法 1日に何をどのくらい飲みますか	授乳量・回数の把握	児の個性 幽門狭窄症など 育児能力・育児不安 ネグレクト	授乳量について、調乳濃度が規定どおりならば、実際の飲んだ量を記入。濃度を薄くしていたり濃くしている場合は、具体的に記入する。	栄養にまわる基準 ①栄養指導の必要性がある * その他(果汁・イオン飲料・離乳食など)を食べている ②栄養に関する主訴がある * 授乳回数が10回以上など ③乳児身体発育曲線で極端な増減がある * 発育不良・肥満など
	20.他に与えているものはありますか	湯冷まし、麦茶の他、果汁、イオン飲料、離乳食を開始していないか確認する。		果汁やイオン飲料の摂取量が哺乳量や体重増加に影響していないか確認する。早すぎる離乳食を避けるため、適切な時期を助言する必要がある	
	21.授乳に時間がかかったり、困難なこと等、栄養について心配なことはありますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような内容か、どのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。親の状況(疲労度など)も見ながら確認。		

お母さんのこと	22.お母さんの体調はどうですか	母の体調	産後うつなど	産後健診・母親の状態から血圧測定が必要な場合は、予診で測定する。診察で、母親への指導を行う。		
	23.育児は楽しいですか	・子どもの発達に必要な反抗や甘えを母親がどのように認識しているか。 ・イライラするのはどのような場面・時なのか。 ・解消手段を確認する。	母子関係 育児不安 虐待 子どもの発達障害	産後うつ病をふくめ、母親の精神状態を評価および母親自身がセルフチェックを行うため、健診で産後うつ病自己評価票を実施する。	EPDS高得点の場合(9点以上) ・母の状況について確認。 うつ項目:問1, 2, 9, 10 育児不安:問3, 4, 5, 6 が高い場合 点数が高い項目は、内容、状況などを聞き出し、本人の言葉をそのまま余白に記載する。 11項目目がa,b,cの場合は状況を確認し、地区担当がフォローする	
	24.育児をしていてイライラすることがよくありますか					母親の孤立度・自立度の確認と虐待の疑いがないかの観察。 また、母親のストレスが子ども自身の問題の表れであることも母子ともに観察が必要。
	25.育児を手伝ってくれる人や相談できる人がいますか。	・母親の育児環境の把握	親子の孤立化・育児不安		「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。	
	26.お母さんのことやご家庭のことで困っていることはありますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような内容か、どのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。		主訴がある場合は、項目番号に○をする。	
	27.育児についての感想をお書きください					
お父さんのこと	28.育児は楽しいですか	父親の家族内の役割の確認	・虐待 ・父の精神疾患 ・子どもの発達障害 ・夫婦関係が子育てに及ぼす悪影響等	・父親の心身の状態を把握し、育児や夫婦関係への影響を確認する。 ・父親の状態を母親がどうとらえているか。 ・父親も来所している場合は、父親本人に確認。	「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。	
	29.育児をしていてイライラすることがよくありますか	父子関係			「はい」の場合は、市記入欄に父から聞き取った内容を記入し、項目番号に○をする。(父が不在の場合は、母に聞く)	
	30.育児を手伝ってくれる人や相談できる人がいますか。それは誰ですか	育児環境・夫婦関係				「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。
	31.お父さんのことやご家庭のことで困っていること、育児についての感想をお書きください	主訴			主訴がある場合は、具体的にどのような内容か、どのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。	主訴がある場合は、項目番号に○をする。

《指導にまわる基準》

主訴がある。(総合では終結しない内容)

母親の希望がある。

児の発達・発育、生活リズム、母親の態度等が気になる場合。

主訴がないが、予診者、計測者等が気になったため指導にまわす場合は、何で指導にまわしたのかを生活面の欄の上部に小さく記載する。(例)母・リズム・発達など

・主訴が解消できたかどうかを確認

・健診で聞きたかったことが聞けたか、他に気になることはないかを必ず尋ねる。

・実際に育児を行っている人の心身の状態を把握すること。必要時親のメンタルヘルス相談を案内。EPDS9点以上、もしくはa~cの人は積極的に勧める。

・心身の状態によって受診券が発行された者に関しては、受診の仕方を説明。症状について医師からの説明を再度要する場合は、医師につなげる。また、精密健診や経過観察が必要だと伝えるときには、相手の気持ちを十分に配慮し、「障害」「異常」という言葉は安易にはつかわない。

・発達について心配がある児、養育者が児の発達を心配している者については経過観察・親メン・ママの時間もしくは地区フォローとする。

* 経過観察の必要があり、そのルートに乗ってこない場合には、無理をせず現状の確認と目標へのヒントを出した上で、次の確認時期について同意を得る。

1. 6歳児健康診査マニュアル(予診・総合・指導用)

健診の目的: 発育・発達のスクリーニングの機能とあわせ、親等が育児に積極的に取り組めるよう支援する。母親が、否定的な感情を抱かないような配慮が必要。

出生の経過・健診時の月齢の考え方	早期産: 28週～37週未満 → 10か月児健診 早産極低出生体重児: 1,500g未満 → 1歳6ヶ月児健診 早産超低出生体重児: 1,000g未満 → 3歳児健診 まで修正月齢でみてよい。
------------------	---

お子さんの成長について	①首がすわったのは	空欄の場合は、必ず状況を確認(ききとりや母子手帳欄など)して記入する。
	②お座りしたのは	
	③ハイハイは	
	④つかまり立ちは	
10か月児健診は受けましたか?	「はい」の場合は結果を聞き、所見の有無を記入。有りの場合は、現在の通院状況等確認する。	
今までに受けた予防接種に○をしてください また、接種した回数を記入してください	1. 6歳で終了している予防接種 ヒブ・肺炎球菌 BCG 四種混合 MRI 期 水痘 → 接種未の場合は、接種券の有無やスケジュールについて確認する	

問診項目	チェックポイント	疑うべきリスク	考え方など	対応
1. 今までに病気・事故がありましたか	発達上影響がある疾患か。親の疾患への認識、受診行動がとれたか。		現在の発育・発達への関係が深いためフォロー状況の確認および、把握する必要がある。	
2. 現在通院していますか				
3. うしろから名前を呼ぶと、振り返りますか		難聴	人の声に注意を向け、聞きわけの聴力と同時に、自我の発達上、自分の名前が分かっていることが大切。また、視力や聴力で気になることがないか確認する。	診察で落とさないように項目番号に◎をする
4. 目つきや、目の動きで心配がありますか		斜視・弱視		
5. 視線が合いにくいと感じる事がありますか	「名前を呼ぶ」「バイバイ」と声をかける等でしっかり目が合うか? 反応があるか?	自閉症・斜視	自閉傾向をみる。人との結びつきの形成や発達に関与する行動で、目と目の見つめ合いは重要な役割を果たしている。	「いいえ」の時は、具体的に状況をききとる。
6. ひとりで歩きますか	手を下にして歩き、ほとんど転ばない。予診室への入室等での観察、ききとり、母の訴えで歩行に何らかの不安があれば記入	小児マヒ・その他の疾患	全体の運動発達を示す。乳児期からの発達や既往歴を併せて考える。軽度のO脚は生理的である。	独歩が完成していない場合は、これまでの発達状況を確認し、要フォローとする。
7. 絵本に興味がありますか	母親が見せているか。興味の持ち方(破いてしまう、めくる、読んでもらいたがる等)はどうか。			読む機会を持つ。
8. 「ワンワンどれ」等知っている物を聞くと指差ししますか	理解と対人関係 手や視線などで相手に伝えたい気持ちが観察出来れば良い。(一)であれば経過を見る必要がある。		ことばの意味を理解し、他者とのやりとりができるか	絵カードを使って実際にやり取りする。予診でできなければ、日頃の様子を聞き取る。実物(靴等)でできればOK。
9. 大人の言う簡単なことばがわかりますか	簡単な指示に従える(往復理解)言葉のまねが盛んになる。声かけだけで指示を理解してやってくれるか確認。	精神発達遅滞・自閉症スペクトラム	家族の区別ができるか。語彙数よりも、ことばだけの指示で理解して行動できること。外遊びが少ない・他児と関わる機会が少ないなど環境的な要因はないか? 母の関わり(育児能力)も影響していることがある。	理解の状況を確認し、発達の目安や対応の仕方を助言をして、2歳頃に確認する。また、発達の遅れが気になるケースや母の心配感が強いケースなどは、発達相談を勧める。
10. だめと言われた事がわかりますか				
11. パパ・ママ・ワンワンなど意味のある言葉を言いますか	片言でも意味のある言葉が言えない場合は経過を見る必要がある。			
12. 小さな物をつまめますか	微細運動の発達を示すもので、手指の発達を目的に協同運動をみる。実際に積み木を積み上げて2~3個積めるか、指先で握っているかを観察する。		発達段階に応じた、理解力(模倣)や指先の器用さを確認する。	
13. 大人のやることをまねしますか	お手本が目前にいないとマネできないと言う事でもOK。対人関係の希薄さが原因で模倣行動は遅れるので「いいえ」の場合は保護者や他児との関わりも観察する	精神発達遅滞・自閉症スペクトラム	模倣とは、自分が外界にあわせるように変化させることで、発達を基本的に支える機能。人への関心や社会性への指標となるため、多動性や人への興味のなさがあるか確認する。指さしや後追いが大事。	
14. 他の子どもに関心を持ちますか				
15. 生活リズムを記入して下さい (外遊びの時間・テレビ等を見ている時間)	外遊びや体を動かす遊びの体験と睡眠リズムの把握をする	母子関係 発達の課題があるか	小児科医会の提言 2歳まではテレビ・ビデオの視聴を控えめに。食事中はテレビ・ビデオをとめる。目安)就学前までテレビは2時間以内、テレビゲームは30分以内。 生活リズムの乱れ・養育上の問題がないか確認する。	保護者の生活リズムも確認をして、生活リズム(ホルモン分泌)のチャリンを渡しながら助言する。 「いいえ」の場合、日中の過ごし方やなぜ外出できないかを聞き取り、市記入欄に記入。
16. せや行動で気になる事はありますか	指しゃぶり・多動(座っていない・迷子になるなど)	発達障害・自閉症スペクトラム	具体的なエピソードを聞きとる	困り感があれば、発達相談を案内。または困り感がなくても、必要時発達相談を案内。
17. 新しい場所や人に慣れにくく困った事はありますか	母子関係や対人・社会性の確認			
18. お子さんのことで相談したいことや困っていることはありますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。		主訴がある場合は、項目番号に○をする。

栄養について	19. 昨日の食事の時間と内容を教えてください	食生活習慣・内容		栄養にまわる基準 ①栄養指導の必要性がある *授乳・食事内容・ジュース類・間食など ②栄養に関する主訴がある *小食・むら食い・偏食・遊び食べ・噛まないなど ③乳児身体発育曲線で極端な増減がある *発育不良・肥満など	生活リズムを規則正しくし、楽しく食事ができるように工夫することを助言。 おやつは食事と一部として考え、不足しがちな栄養素を含むものを与える。 母の理解が得にくい場合や、発育不良などの場合は、管理栄養士の継続相談や地区担当フォロー
	20. 普段の飲み物を教えてください				
	21. 毎日、朝食を食べていますか	食生活習慣			
	22. 自分で食べようとしますか	食行動・社会性・母子関係			
	23. 哺乳瓶を使っていますか	母子関係。いつどのような時にしているのか。食事量・発育の状況・虫歯の有無・卒乳についての保護者の考え方			
24. 食事で心配なことはありますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような内容(どのような場面・子どもの様子)か、それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。			
歯について	25. 菓子類や甘い飲み物を与えていますか	食行動・社会性・母子関係		・甘味嗜好が定着しやすい時期なので、注意する。 ・食後や寝る前に歯みがきをする習慣をつける時期である。 ・指しゃぶりやおしゃぶり等は不正咬合の原因となる場合が多い。 【むし歯患型による考え方】 O1型…むし歯がない O2型…むし歯はないがリスクがある。横須賀市では①COがある②歯垢がある③卒乳未④ジュース類を1日に101ml以上飲むの4項目ををリスクありとしている。 A型・B型・C型については歯科受診を勧める。	重度の虫歯の場合や、歯みがきに対する親の意識が極度に低い場合、必要に応じて歯科衛生士の継続相談と地区担当フォロー 25については、食事への影響もあるため、栄養相談での助言も必要
	26. 仕上げ磨きをしていますか	生活習慣 1日に1回は大人が歯みがきチェックをしているか	ネグレクト		
	27. 指しゃぶり・おしゃぶり等をしていますか	母子関係			
	28. 歯の健康教室に参加したことがありますか	育児への姿勢			
	29. 歯のことについて何か聞きたいことがありますか	主訴			

お母さんのこと	30. お母さんの体調はどうか	母の体調		母親の孤立度・自立度の確認と虐待の疑いがないかの観察。 また、母親のストレスが子ども自身の問題の表れであることもあり母子ともに観察が必要。	「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。 「はい」の場合は、市記入欄に母から聞き取った内容を記入し、項目番号に○をする。 「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。
	31. 育児は楽しいですか	・子どもの発達に必要な反抗や甘えを母親がどのように認識しているか。 ・イライラするのはどのような場面・時なのか。 ・解消手段を確認する。	母子関係 育児不安 虐待 子どもの発達障害		
	32. 育児をしていてイライラすることがよくありますか				
	33. 育児を手伝ってくれる人や相談できる人がいますか。	・母親の育児環境の把握	親子の孤立化・育児不安		
	34. お母さんのことやご家庭のことで困っていることはありますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。		
	35. 育児についての感想をお書きください				
お父さんのこと	36. お父さんの体調はどうか	父の体調		父親の心身の状態を把握し、育児や夫婦関係への影響を確認する。 ・父親の状態を母親がどうとらえているか。 ・父親も来所している場合は、父親本人に確認。	「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。 「はい」の場合は、市記入欄に父から聞き取った内容を記入し、項目番号に○をする。(父が不在の場合は、母に聞く) 「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。
	37. 育児は楽しいですか	父親の家族内の役割の確認	・虐待 ・父の精神疾患 ・子どもの発達障害		
	38. 育児をしていてイライラすることがよくありますか	父子関係	・夫婦関係が子育てに及ぼす悪影響等		
	39. 育児を手伝ってくれる人や相談できる人がいますか。それは誰ですか	育児環境・夫婦関係			
	40. お父さんのことやご家庭のことで困っていること、育児についての感想をお書きください	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような内容か、どのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。		

《指導にまわる基準》
 主訴がある。(総合では最終しない内容)
 母親の希望がある。
 児の発達・発育、生活リズム、母親の態度等が気になる場合。
 主訴がないが、予診者、計測者等が気になったため指導にまわす場合は、何で指導にまわしたのかを生活面の欄の上部に小さく記載する。(例)母・リズム・発達など
 ・主訴が解消できたかどうかを確認
 ・健診で聞きたかったことが聞けたか、他に気になることはないかを必ず尋ねる。
 ・実際に育児を行っている人の心身の状態を把握すること。必要時、親子支援相談等を案内。
 ・心身の状態によって受診券が発行された者に関しては、受診の仕方を説明。症状について医師からの説明を再度要する場合は、医師につなげる。精密健診や経過観察が必要だと伝えるときには、相手の気持ちを十分に配慮し、「障害」「異常」という言葉は安易にはつかわない。
 ・発達について心配がある児、養育者が児の発達を心配している者については、発達相談もしくは地区フォローとする。
 * 経過観察の必要があり、そのルートに乗ってこない場合には、無理をせず現状の確認と目標へのヒントを出した上で、次の確認時期について同意を得る。

3.6歳児健康診査マニュアル(予診・総合・指導用)

健診の目的: 発育・発達のスクリーニングの機能とあわせ、親等が育児に積極的に取り組めるよう支援する。母親が否定的な感情を抱かないような配慮が必要。

出生の経過 健診時の月齢の考え方	早期産: 28週～37週末満 → 10カ月児健診 早産極低出生体重児: 1,500g未満 → 1歳6ヶ月児健診 早産超低出生体重児: 1000g未満 → 3歳児健診 まで修正月齢でみてよい。
---------------------	--

①一人で歩いたのは 才 か月 ②意味のある単語を話したのは 才 か月	空欄の場合は、必ず状況を確認して記入する。異常があった場合は、その内容や予後、継続して管理が必要な状況なのかを確認する。
---------------------------------------	--

問診項目	この質問で何を観察するか	できなかった場合の二次質問の仕方	チェックポイント	対応	備考
1. 今までに、病気・事故がありましたか	現在の発育・発達への関係が深いためフォロー状況の確認および、把握する必要がある。		いつ頃か、疾病名と受診先、治療状況を把握する。発達上影響がある疾患か。親の疾患への認識、受診行動がとれたか。		
2. 現在治療中の病気がありますか					
3. 視聴覚検査の方法を理解して実施できましたか	いいえの場合(視覚)	出来なかった理由 Q.出来なかったのはどうしてですか?	精神面・視空間認知・触覚面・理解力	健診のDr.に見てもらい、判断してもらおう。 2次検査の案内。	視力は3歳で0.6ぐらい 5から6歳で1.0
	いいえの場合(聴覚)	出来なかった理由 Q.出来なかったのはどうしてですか?	理解力・聴力・中耳炎等の疾患		
4. 目つきや、目の動きで心配がありますか	近視・遠視・斜視・乱視	はいの場合 Q.どのような心配がありますか?	本など接近してみているか 斜めから見ているか 上目づかいで見ると階段降りを怖がるか		
5. 耳の聞こえで心配なことはありますか	難聴	はいの場合 Q.どのような心配がありますか?	呼んでも振り向かない・返事をしない 聞き返す テレビの音量を大きくする		
6. 歩き方や走り方で心配がありますか	外反足・内反足・O脚・X脚・自閉傾向がある・感覚過敏がある	どんな走り方をしますか? ・自分の足に絡まって転ぶ ・まっすぐ走れない ・どちらかに身体が傾いた走り方? ・つま先歩きはないか	形態(整形外科的な問題) 視覚の関与 ADHDの可能性の場合は問19・20もふまえて観察	Dr.で整形・眼科受診の必要性があるか判断してもらおう。 特に形態や視覚・ADHDの問題がなさそうな場合、靴が合っているか。	
7. 足を交互に出して、ひとりで階段を昇ることができますか	出来ない場合 できるレベルのチェック	・手をつなげば可? ・手すりにつかまれば可? ・一人で1段ずつ昇れるか? ・高いところから跳び下りるか?	母からの聞き取りと、他の質問とふまえて判断	全体的な発達の問題がある可能性があるため、発達相談等を考える。	発達障害との鑑別が必要
8. ことばのことで心配なことがありますか	理解・発音の不明瞭度	具体例をあげてもらう。	・言うことと理解の差が大きい。 ・限られた空間だけの理解か。 ・助詞が入っているか。	発達障害の可能性がなく言語の表出だけ遅れている場合など育児環境の問題はないか。発達障害の可能性のある場合は発達相談を考慮する。	3歳までに言語表出は言語理解に追いつくとされている。3歳以降も文章レベルの言語表出がない場合は、言語理解もやや遅れていることがある。

9.発音で心配なことがありますか	吃音の有無 口腔内の問題	食べる機能の確認 ・咀嚼は十分か ・麺がすすれるか ・ぶくぶくペ・がらがらべが可?	繰り返し・引き延ばし・つまる・同じ音の誤り	吃音に関しては聞き手はじっくり聞くように心がける。子どもが話すことを躊躇しないような環境を作っておける。正しい音を耳から入れてあげる。サ行がタ行になるだけの子は5歳ぐらいまで様子みてよい。 言いなおしをさせない	・舌小帯の手術は就学になるまで待つことが多い。訓練で解消されるものではないが成長によって改善される場合もある。 ・サ行・ラ行が就学前に出ていけば問題ない。 ・ぶくぶくがいは2歳半で70%ぐらい。 ・食べるときに物が右か左に寄せることができれば舌をつかえている。氷を口のなかでころがせるか。 ・まず粗大運動ができてから。
10.「ママ公園行こう」等の3語文で会話をすることができますか	通常は3歳までに言語表出は言語理解に追いつくとされている。3歳以降も文章レベルの表出言語がない場合は、言語理解もやや遅れている事がある。	「ママ公園」「ママ行こう」は可? 「ママ～」等決まり切った表現が多いか 新しい言葉は増加しているか 普通の母とのやり取り過ぎ方	3歳を過ぎても、発語が単語レベルの児は、言語理解は低くないか、心理社会的な面での未熟性はないか再評価が必要である。	・発達障害の可能性がなく言語の表出だけ遅れており、育児環境の影響が考えられる場合・・・普段の母子のやりとりの機会を増やす ・でこぼこのない発達で表出だけ遅れている場合・・・大人は子供の表現にプラスαをつけてもう一度返してあげる。子どもの行動を言語化してあげる。 お風呂に入ったときに一日の振り返りの話をしてあげる。 ・発達障害の可能性のある場合・・・発達相談の利用を検討。	
11.質問に答えたり、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることができますか	相手を意識し、質問者と回答者の役割を理解しているか(二者の関係性)	決まり切った答えの質問は可? Q:パパは? A. 会社 Q:お兄ちゃんは? A. 学校の関係性	直前の話・近未来(例題があった方がよい)の話をするか	かなり体験が影響する。体験不足の場合、遊び集団に行ってみる 会話が成立しない場合は心理相談を考える。	
12.「大きい、小さい」がわかりますか	抽象語の概念がわかってるか 比較ができるか	抽象語の表現が答えになる質問をする(食べ物以外の物で)	食べ物(食べ物に限らなくても良い)の大きいがわかってても大小の概念を理解しているとは限らない。		簡単な食べられない(変更)→同じ図形を提示し聞いてみる。 指導等では3回ぐらい出来ると効果的。
13.「赤、青、黄」などの色の違いがわかりますか	色弁別概念形成	赤・青・黄・緑がわかる。○○色はどれ?で選べるか。	バナナの色、リンゴの色はどれかなどの問いで色を指さしすることが出来る(好きな色は答えられることが多い)	靴下ズボン等を色名で選ばせる	
14.エンピツ、クレヨンで○をかくことができますか	しっかり1つの丸であること 36週?	できない丸の分析 ・似ているか ・丸が開いているか	目と手の協応		
15.はさみを使うなどの、手先の細かい作業をすることができますか	微細運動 はさみ・はし 30週?	1回切りまたは連続切り はさみを使ったことがあるか	左右の協応動作	この問いだけの問題であれば、道具を使って練習する。 他の問題もあれば全体的な発達の心配があるので心理相談を考える。	
16.昼間のオムツがとれていますか	排泄コントロール	トイレトレーニングの状況 排尿回数・色・性状・量・パンツうんちなどあるか	水分量・失敗する時間帯・理解	トイレトレーニングの進め方 * 昼はだめでも夜失敗してなければためておく力があるためはずすタイミングである。	
17.衣類の着脱をひとりでしたがりですか	身辺自立	大きなボタンをはめられる。パンツがはける。靴が1人ではける。	親がやらせているか	お風呂あがりから練習。 穿く(履く)順番に衣類を並べておく靴下も短いものから練習(脱ぐ動作から始めたほうが簡単か?) かかとつま先をはきやすいよう並べる	

お子さんの様子

18.友達と一緒にままたごや、怪獣ごっこなどの遊びができますか	2者の相互関係性が成立しているか (役割交代して遊べるか)	他の子の遊びに関心を示し、じっとみてそばでまねするか？ 大人が仲介役をすると他の子と遊びが成立するか？ 棒立ち状態で見ているだけか 関心なく一人遊びをするか？	他の子の活動言語を見聞きした結果の行動がとれるか	家の外で見た遊びを再現して遊んであげる	・エピソードを聞くことに重点をおく ・母の困り感と子どもの問題点が明らかになることが多い ・発達障害に注意して観察
19.落ち着きがない、集中できないなど困ったことはありますか	多動・注意集中度・興味の偏り	TVの子ども番組への集中度・興味を示すジャンルは？その集中時間は？	アニメ7～10分位見ているらOK→助言？	ご飯を食べるとき刺激のない環境で、母と90度の位置で、座る時間を作る。	食事の時間は20分から30分位
		自分の好きなこととそれへの集中時間は？	興味の幅とどんな遊び関心の示し方をするか		
		視覚や聴覚的刺激で集中できないか 絵本(簡単なストーリー)を読んでもらって楽しめるか	感覚過敏があるか		
		動きが多く、歩くというより小走り状態 危険な行動をする	迷子の経験は(あるか)？ スーパーでカートに載せないと心配 手つなぎを嫌がるか 手首をつかまねばならないか	簡単な約束が出来、その約束が守れれば日常生活の中で様子を見る。母を楽にして外に出る機会を増やす。他の問題が絡む場合は発達相談を案内。	
		手をつないで大人と歩調を合わせて歩けるか			
電車バス等大人しく乗ってられるか？ 大人が話しかけたり車窓の変化をみる	トイレを怖がる等も合わせてみる				
20.人見知りや強い不安、他人への乱暴さなど困ったことはありますか	強い不安・他者への乱暴	特定の場所は苦手か 避けて通る・棒立ちで前へ進めない 理由なく叩く、すれちがいがまにたたく、家族以外でも乱暴するか	母からの聞き取り・困り感を引き出す 父母の注意の方法や対応について 集団での様子	特異的なものであれば心理こどもの発達相談ご案内。	
21.特定の物に興味があったり、周囲に関心がないなど気になることはありますか	社会性・状況判断力・他者認知 特異な認知様式があるか	具体的に日常困っていることを聞く(こまったエピソード)	特異な認知様式があるか 例)部分に注目し全体像を無視したような行動がある 話す内容が場に合致しない。一つのことを話し続ける。	特異的なものであればこどもの発達相談ご案内。	
22.生活リズムを記入してください	生活リズムの乱れ・異常	夜中決まった時間に目覚め・しばらく寝付けない？ 遊びだす？ 睡眠に不敵な環境か？	親の生活リズムは整っているか	環境が整っていても乱れがある場合は他の質問項目もふまえて観察	
23.お子さんのことで相談したいことや困っていることはありますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような内容か、どのような場面・こどもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。	主訴がある場合は、項目番号に○をする。		
栄養について 24.昨日の食事の時間と内容を教えてください 25.普段の飲み物を教えてください 26.食事は主に誰と食べていますか 27.毎日朝食を食べていますか 28.自分で食べようとしますか	身辺自立	可能な限り聞き取り ミルクか母乳かをはっきりさせる		栄養相談・歯科での助言 栄養にまわる基準 ①栄養指導の必要性がある * (授乳?)・食事内容・ジュース類・間食など ②栄養に関する主訴がある * 小食・むら食い・偏食・遊び食べ・噛まないなど ③乳児身体発育曲線で極端な増減がある * 発育不良・肥満など 【栄養についての対応】 ⁸ 管理栄養士の継続相談	

	29.食事で心配なことがありますか	主訴 過度の偏食	食べ方が変わっている、こだわりが強いなどあるか	発達障害の場合、極端な偏食・異食などの行為がみられることがある。	他の質問項目と合わせて観察。こどもの発達相談や栄養相談案内	や地区担当フォロー
歯について	30.菓子類や甘い飲み物を与えていますか	食行動・社会性・母子関係	<p>【3歳6か月児歯科健診での考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつ回数が1日2回以上、ジュース類(ジュース・乳酸菌飲料・イオン飲料等)の総量が1日251ml以上の場合にはむし歯が多い。 ・自分で歯みがきをするほかに、1日1回は大人の仕上げみがきが必要なことを説明する。 ・指しゃぶり等は不正咬合の原因となる場合が多いので、対応について説明する。 ・フッ化物の利用(歯みがき剤の使用・歯科医院での塗布・4歳以降のフッ化物洗口等)を推奨する。 ・むし歯のない場合でも、生え代わりに向け定期健診を受けるよう勧める。 ・むし歯のある場合は早期歯科受診を勧める。 ・多数歯にむし歯が及ぶ場合や重度なむし歯の場合は、ネグレクトも疑われるので注意。 			<p>多数歯むし歯や重度のむし歯の場合、歯みがきに対する親の意識が極端に低い場合等は、必要に応じて歯科衛生士の継続相談と地区担当フォロー</p> <p>31については、食事への影響もあるため、栄養相談での助言もある</p>
	31.仕上げみがきをしてあげていますか	生活習慣・母子関係				
	32.指しゃぶり・おしゃぶり等をしていますか	母子関係				
	33.歯の健康教室に参加したことがありますか	育児への姿勢				
	34.歯科医院でフッ素を塗ったことがありますか	歯科受診経験の有無				
35.歯のことについて何か聞きたいことがありますか	主訴					

お母さんのこと	36.お母さんの体調は どうですか	母の体調				
	37.育児は楽しいです か	母子関係 育児不安 虐待	子どもの発達上必要な反抗や甘えを母親がどのように認識しているか。イライラするのはどのような場面・時なのか。解消手段を確認する。	母親の孤立度・自立度の確認と虐待の疑いがないかの観察。 また、母親のストレスが子ども自身の問題の表れであることもあり母子ともに観察が必要。	「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。	
	38.育児をしていてイライラすることがよくあります か	子どもの発達 障害				「はい」の場合は、市記入欄に母から聞き取った内容を記入し、項目番号に○をする。
	39.育児を手伝ってくれる人や相談できる人がいます か。	親子の孤立 化 育児不安	母親の育児環境の把握		「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。	
	40.お母さんのことやご家庭のことで困っていることはあり ますか	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。		主訴がある場合は、項目番号に○をする。	
	41.育児についての感想をお書き ください					
お父さんのこと	42.お父さんの体調は どうですか	父の体調				
	43.育児は楽しいです か	虐待 父の精神疾 患 子どもの発達 障害 夫婦関係が 子育てに及ぼ す悪影響等	父親の家族内の役割の確認	父親の心身の状態を把握し、育児や夫婦関係への影響を確認する。父親の状態を母親がどうとらえているか。父親も来所している場合は、父親本人に確認。	「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。	
	44.育児をしていてイライラすることがよく あります か	父子関係			「はい」の場合は、市記入欄に父から聞き取った内容を記入し、項目番号に○をする。(父が不在の場合は、母に聞く)	
	45.育児を手伝ってくれる人や相談できる人がいます か。それは誰ですか	育児環境・夫 婦関係			「いいえ」の場合は、お父さん(夫)の状況などを確認し記入。項目番号に○をする。	
	46.お父さんのことやご家庭のことで困っていること、育児についての感想をお書き ください	主訴	主訴がある場合は、具体的にどのような内容か、どのような場面・子どもの様子・それにより不安や困り感を感じる親の状況などを聞く。		主訴がある場合は、項目番号に○をする。	

《指導にまわる基準》

主訴がある。(総合では終結しない内容)

母親の希望がある。

児の発達・発育、生活リズム、母親の態度等が気になる場合。

主訴がないが、予診者、計測者等が気になったため指導にまわす場合は、何で指導にまわしたのかを生活面の欄の上部に小さく記載する。(例)母・リズム・発達など

・主訴が解消できたかどうかを確認

・健診で聞きたかったことが聞けたか、他に気になることはないかを必ず尋ねる。

・実際に育児を行っている人の心身の状態を把握すること。必要時、親子支援相談等を案内。

・心身の状態によって受診券が発行された者に関しては、受診の仕方を説明。症状について医師からの説明を再度要する場合は、医師につなげる。精密健診や経過観察が必要だと伝えるときには、相手の気持ちを十分に配慮し、「障害」「異常」という言葉は安易にはつかわない。

・発達について心配がある児、養育者が児の発達を心配している者については、発達相談もしくは地区フォローとする。

* 経過観察の必要があり、そのルートに乗ってこない場合には、無理をせず現状の確認と目標へのヒントを出した上で、次回の確認時期について同意を得る。